

「学生交流委員会 「WILL BE プロジェクト」 Autumn Festival in KOBE」報告書

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸

・プログラム名：

大学コンソーシアムひょうご神戸 学生交流委員会 「WILL BE プロジェクト」

第1回 Autumn Festival in KOBE でマルヤナギ小倉屋とイベントブースを企画しよう!!

- ・日時 2022年9月23日（祝・金）10:00～19:30
- ・会場 京町筋（神戸市中央区・旧居留地）
- ・概要 7月に行われた「みなとまつり」に続き、大学の枠を超えた学生間の交流・活動促進を行い、兵庫・神戸の魅力を体感できる機会が持てるよう学生に機会を提供した。今回は兵庫県、神戸市、神戸青年会議所ほかが実行委員会を形成し、今年度初開催となる「Autumn Festival in KOBE」にて、地元企業であるマルヤナギ小倉屋（本社：神戸市東灘区）と商品企画から販売促進・広報を協力し、加東市の特産品である「もち麦」を使用したドリンクのブース出展を行った。
- ・対象 加盟校学生
- ・内容 7月8日（金）マルヤナギ小倉屋本社にて行われたキックオフミーティングを皮切りに、もち麦を広める為のイベントブース企画を3か月間にわたり行った。学生は「新商品開発」「もち麦拡販」「SNS企画広報」の3チームに分かれ、マルヤナギ小倉屋の社員によるサポートのもと「3種類のもち麦ドリンク考案」、「販売促進用のポスター作成」、「SNSを活用した広報」を実施した。イベント本番ではそれぞれのチームの企画が功を奏し合計約150杯のもち麦ドリンクが完売となった。全体の活動日程は以下の通り。（全7回）
 - ・2022年7月8日（金）：キックオフミーティング
 - ・2022年7月22（金）、28（木）：キックオフミーティング共有会
 - ・2022年9月5日（月）：新商品開発試作会
 - ・2022年9月7日（水）：中間報告会
 - ・2022年9月22日（木）：Kiss FM ラジオ出演
 - ・2022年9月23日（金）：Autumn Festival in KOBE
 - ・2022年9月27日（火）：振り返りミーティング
- ・主催 一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸
- ・共催 一般社団法人神戸青年会議所
- ・協力 株式会社マルヤナギ小倉屋

-プログラム実績-

参加者数：8校 22名

参加者アンケート(感想抜粋)

質問1.全体の内容について

(自己成長)

・準備過程から当日まで普段の大学生活では経験できない内容ばかりでとても勉強になった。

・楽しく貴重な体験ができ自身の成長にもつながった。

(企業との協業)

・企業と商品を企画して販売するという貴重な経験ができた。

・企業と一緒に何かに取り組む貴重な機会になったのでよかった。

・普段大学では一般の企業と関わることがないので、今回は大変貴重な経験をさせていただいた。オンライン・SNS上のやりとりが主で、実際集まる機会があまりなかったことは残念であったが、本番みんなで協力しながら完売できたことは本当に良かったと思う。

(学生交流・多様な参加機会)

・マルヤナギ小倉屋のもち麦を利用して皆のアイデアで新商品を作るイベントが非常に良かった。参加できない学生にも情報を伝えるために LINE グループで情報共有したりすることが非常に良かった。当日、大学の課外実習で参加できなかった自分にとっても、新商品の全体的プランなどをわかることができた。

・色々な大学の学生が案を出し合って、新しい商品を生み出したのはよかった。

(学業との繋がり)

・大学で学んでいるマーケティングを実践できたように感じた。

(オンラインの活用)

・全体ミーティングにはあまり参加できなかったが、SNS チームでの意見交換や ZOOM ミーティングには参加でき、他大学の方とコミュニケーションをとることが楽しかった。

また、本番までのカウントダウンの画像づくりや、文章作りなどもでき、普段はあまりすることのない活動に携わることができ、貴重な体験ができた。

質問 2. Autumn Festival in KOBE のチームごとの運営について

(新商品開発チーム)

- ・当日の役割分担、ヘルプ等臨機応変に動けたように思う。
- ・チーム分けによって役割をはっきりとさせながら、当日はチームの枠を超えての交流ができた。
- ・各チームの運営は非常に良かった。グループに分けられたのでやらないといけないことをしっかり理解することができた。

(もち麦拡販チーム)

- ・最終的にはドリンクやブースの商品を多く販売することができ、マルヤナギ小倉屋のことを多くの人に知ってもらえたと思う。
- ・当日まで一度も実際に集まることが出来ず、オンライン上のみだったので少しコミュニケーションに難しさを感じたが、当日は販売を中心にチームとしての役割を果たせたと思った。

(SNS 企画広報チーム)

- ・SNS チームメンバー4 人とも積極的に発言していて、役割分担などもしっかりと決めて活動できた。
- ・みんなで意見を出し合って話し合う機会もあったのでよかった。

質問 3. 神戸青年会議所やマルヤナギ小倉屋の人との交流について

- ・話しやすい方ばかりで、交流できて本当によかった。
- ・最初のキックオフミーティングでは学生が話しやすい雰囲気ですべてとてもやりやすかった。また、当日参加できない人や、そのほかの欠席連絡をした際は素早く丁寧な対応をとっていただき、とても助かった。
- ・皆様学生に対しても丁寧に説明、対応してくださったので楽しく交流させていただいた。
- ・積極的に学生側の意見を反映してくださり、グループラインでは分からないことがあればすぐに回答していただけてスムーズに進んだと思う。
- ・商品の売り方、客の呼び込むコツなどを教えて頂いたし、楽しかった。
- ・企画やイベントブースでは多くの方が支えあって成り立つものだということを実感し、また気さくに話しかけてくださいながら、販売のコツなどを教えて頂いた。
- ・マルヤナギ小倉屋さんの商品を知るきっかけになり、神戸青年会議所の方にもたくさん支えてくださったところが良かった。

<活動写真>



・イベント当日の学生とマルヤナギ小倉屋の方々。
兵庫県 齋藤元彦県知事もご来店された。(上列左から3番目)



マルヤナギ小倉屋にてミーティング (7月8日) / Kiss FM ラジオ出演 (9月22日)



学生考案のもち麦ドリンク / キッチンカーとブース / もち麦クイズをブース掲示



インスタグラムにて告知 / もち麦ドリンク販売 / 社員 (写真左) の方と一緒にもち麦製品も販売

以上